

*Martensiana* Meneghini, *Microcoleus tenerrimus* Gomont and *M. Boergesenii* (Gardner) Frémy.

*Spirulina attenuata* which is reported as new to science resembles to *Sp. Margaritae* (Gomont). Frémy, but it differs from the latter alga in its proportionately narrower trichome and in its slightly attenuated end of the trichome. *Microcoleus tenerrimus* Gomont and *M. Boergesenii* (Gardner) Frémy are new records for Japan.

○朝比奈泰彦博士の日本之地衣第二册ウメノキゴケ屬 Prof. Asahina's 'Lichens of Japan, vol. 2. Genus *Parmelia*' published by Res. Inst. Nat. Resources, Tokyo, 1952.

原子爆弾に次いで水素爆弾が破裂したように、先にハナゴケ屬のモノグラフを完成して世界の地衣學界に巨弾を浴びせた朝比奈先生が、その第2弾として再び大物のウメノキゴケ屬を完成して發表された。現下の出版事情から第一册のように書店から出版されずに、資源科學研究所から發行されたが、400圓という定價を附して誰でも自由に買える方法で出版されている。しかも本誌の購讀者や植物學會會員、大學高校の教室や學生には特に350圓で分譲する由であるから、東京都新宿區百人町4の400資源科學研究所に郵便32圓を加えて申込みばよい。體裁も内容も第一册ハナゴケ屬と同様で、總論として葉體とその構造、繁殖器、種の區別の基調、組織研究法に關する注意、日本産ウメノキゴケ屬代謝産物の檢索表、ミクロ化學的確定試驗があり、各論として日本領土内に産するウメノキゴケ屬75種10變種28品種を3亞屬7節に區分して記載してある。本文162頁にアート紙刷圖版28葉が卷末についている。(佐藤正己)

○原寛博士著日本種子植物集覽第二册 Dr. Hara's Enumeratio Spermatophytarum Japonicarum II (March 1952) published by Iwanami Shoten, Tokyo.

昭和24年6月出版された第1册につづくもので、今回の第2册(本文280頁、定價900圓、岩波書店)はアカネ科→キク科を内容とし、これで後生花被植物は完結した。本書については既に第1册の出版の際に本誌23卷7-12號に久内清孝氏が紹介された。本書の完結はひとり分類學に興味あるものばかりでなく、植物をとりあつかう總ての人に要望されている。今日合瓣類の部が著者のたゆまぬ努力により完成し、また文部省科學出版助成金によつて比較的低廉に發行されたことは喜ばしく、さらに次の古生花被植物篇がまたれる。内容形式は第1册に同じであるが、たゞ本册から著者の特に検討したものは星印をつけることにしたので著者の意見は更に明瞭となつている。(木村陽二郎)